



よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
まなび いっぱい
やさしさ いっぱい
げんき いっぱい

「体験活動」「遊び」「読書」「お手伝い」

「小学生のころに自然や社会、文化的な体験を多くした高校生は自尊感情が高い——。」

2001年（平成13年）に生まれた2万人以上の子どもとその保護者を対象に、厚生労働省と文部科学省が18年間追跡調査した「21世紀出生児縦断調査」。子どもの頃の「体験」が、その後の成長に及ぼす効果を分析し、その関連性を明らかにした調査研究報告が、令和3年9月に文科省から発表されました。

それによると、小学生の頃に「体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）」の機会に恵まれ、「読書」や「お手伝い」を多くしていた子どもは、その後、高校生の時に、自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足しているなど）や外向性（自分のことを活発だと思ふ）、精神的な回復力（新しいことに興味を持つ、自分の感情を調整する、将来に対して前向きなど）といった項目の得点が高くなる傾向が、家庭の経済状況などに左右されることなく見られたそうです。また、小学生の頃に、年上や年下など異年齢の人と、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も、同様の傾向が見られたそうです。

予想通りといえば予想通りの結果ですが、自然体験（自然教室、虫取り、ホワイトスクールなど）、社会体験（さつまいも栽培、米作りなどの農業体験や清掃活動などのボランティアなど）、文化的体験（動植物園・博物館・美術館見学、音楽・演劇鑑賞など）の「体験活動」の機会や場を、学校教育の中に「意図的」「計画的」に設ける必要を、改めて感じます。



大洲小の子どもたちが、体験の機会を十分に得られるように、

- (1) 家庭では「お手伝い」や「読書」の習慣を身に付けるようにする。
- (2) 地域では、子ども会やBCCへの参加など、大人や異年齢の子どもたちと「遊び」を通じて交流する機会を設ける。野球やサッカー、ミニバスなど、社会体育に参加するのもいいかもしれません。
- (3) 学校では、地域と連携しつつ「体験活動」の充実を図る。

など、家庭・地域・学校が協働し、全ての子どもたちが、小学校のうちにできるだけたくさんの体験にチャレンジできるような「子どもの成長を支える環境づくり」を進めていくことが大切だと考えます。

10月は校外学習や修学旅行等、多くの「体験活動」を計画しています。子どもたちもとても楽しみにしています。

ご家庭のご支援、ご理解をいただきながら、子どもたちが豊かな「体験活動」に取り組み、充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、後期も勤しんでまいります。ご協力よろしくお願いいたします。





ブラスバンド部 東関東吹奏楽コンクール 銀賞！



ブラスバンド部は、7月24日に行われた千葉県吹奏楽コンクールに出場し、見事「金賞」。県代表で、東関東吹奏楽コンクールに出場することが決まりました！

夏休みの間も練習を重ね、満を持して臨んだ9月10日のコンクール。演奏曲は「アトラス～未来への地図～」です。磨きをかけてきた、力強い音が会場いっぱいに響き渡ります。心のこもった素晴らしい演奏に、聴いていただいた皆さんにも感動していただいたようです。

成果を十二分に発揮し「銀賞」を受賞しました。ブラスバンド部の皆さん、おめでとうございます！



全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象として実施された全国・学力学習状況調査の結果についてご報告いたします。国語・算数ともに、全国平均を0～5ポイント上回り「おおむね良好」でした。

児童質問紙調査の領域では、生活習慣・学習習慣、規範意識・自己有用感のほとんどの項目で、肯定的回答の比率が全国平均を上回りました。

特に、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等の生活習慣に関する項目で、肯定的な回答が高かったようです。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」の学習習慣に関する項目も高く、6割近くの子どもたちが、平日は家庭学習を1時間以上（2時間以上も3割以上）しているそうです。また、「自分には、よいところがあると思いますか」等の質問の肯定的回答が高いことから、全体的に自己有用感が高いことがわかります。さらに、規範意識の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対する肯定的な回答が高かったこともうれしく思いました。

全国平均正答率(%)との比較

	大洲小	千葉県	全国
国語	○	67	67.2
算数	○	62	62.5

※ 平均正答率は、全国は小数第1位まで、千葉県は小数点以下を四捨五入した結果です。

※ ○「おおむね良好」…0～5ポイント未満上回っている

スクールカウンセラー

月に1回、スクールカウンセラーの松戸みゆき先生が来校し、守秘義務のもと、児童へのカウンセリングの他、保護者へ子育て等について助言・援助等を行っています。

相談内容は、心に関する悩み全般、不登校・登校しぶり、学習面の問題（書字が苦手・計算ができないなど）、生活面（片付けができない・忘れ物が多い・落ち着きがないなど）、対人面（友人トラブル・上手くかかわれないなど）、性格（過度に緊張する・乱暴など）、癖（こだわり・爪噛み・チック・抜毛など）など、子育てにかかわること全般です。



後期の開室日は、10月10日（火）、11月10日（金）、12月12日（火）、1月16日（火）、2月13日（火）、3月12日（火）を予定しています。

カウンセリングは、50分ほどですが、時程の調整をする必要がありますので、希望する方は、事前に担任または教頭へお知らせください。